

青山

宗祖法然上人と 祖師堂

発行／梅窓院 編集／青山文化村
発行日／平成17年3月1日
発行人／中島 真成
住所／〒107-0062東京都港区南青山2-26-38
電話／03-3404-8447
FAX／03-3404-8107
ホームページ／<http://www.baisouin.or.jp/>
E-Mail／jodo@baisouin.or.jp

題字／浄土門主総本山知恩院門跡
第八十六世中村康隆猊下

祖師堂はその名の示す通り、宗祖法然上人を祀るお堂でもあります。法然上人の見守る中、祖師堂は講演会やコンサートなど、ホールとして多くの方々にご利用頂き、交流の場として幅広く活用されております。

祖師堂はゆったり300席収容可能。舞台天井にはスクリーンが収納されており、映写会も可能。



祖師堂再建に合わせて、佛具を一部修復致しました。



住職挨拶
梅窓院第二十五世
中島真成
暑さ寒さも彼岸まで。



最近では世界的な天候不順ですから、このお彼岸が季節の変わり目になるものやら、少し心配ですね。

これから春に向け、梅や桜といった花の季節になりますが、今年の春は浄土宗の大本山のひとつ、京都の清浄華院の御忌に団参で参ります。

前号でお知らせしましたが、唱讃導師を勤めさせていただくということで、日々修練しておりますが、関東と関西ではお経など違うところもあり、いい勉強になっています。

さて、昨年落慶した本尊回りの佛具を紹介するビデオを制作致しました。檀信徒のみならずにはDVDかビデオで配らせていただきます。我田引水というわけではないのですが、京都の職人さんの手仕事による佛具は一見の価値はあるものです。

また今年には文化講演会に浄土宗の宗務総長、水谷幸正氏をお呼びする予定です。こうした新しい試みを始め、新伽藍での各種行事を充実させてまいります。

落慶式でも話させていただきましたが、檀信徒のみならずはもちろん、地域のみならずにも身近に感じてもらえるお寺が目標です。こんなことをして欲しい、こんなことができませんか、とお気軽にご要望をいただければ幸いに存じます。

新生梅窓院、一緒に育てて下さいませよう。お願い致します。

老

第四回 (四回連載)

「北枕とお釈迦さま」 残された時間

長野市十念寺 副住職

袖山榮輝 上人

信州の夜は底冷えがする。東と南に窓ガラス、西には押入と襖という部屋で寝ている私にとつて、北枕で寝るのが一番暖かい。

縁起が悪いと忌み嫌われる北枕だが、私たちはどうして死者を北枕に安置するのであろうか。

通説では、お釈迦さまの亡くなった時が北枕であったことに由来するという。

お釈迦さまが亡くなる様子を伝えた経典では、臨終の迫

ったお釈迦さまが確かに頭を北にして寝かしてほしいと弟子に頼んでいる。

なるほど北枕は、お釈迦さまに倣った臨終の作法なのであろうが、そもそも臨終にお釈迦さまが北枕の床にいたのは何故なのであろうか。

インドの習慣といわれればそれまでだが、日頃の習慣をわざわざ言葉にして頼むには何か理由があったはずだ。

およそ二五〇〇年前。お釈迦さまは今日のネパールとイ

ンドの国境沿い、はるか北の空にヒマラヤを仰ぐ小国の王子としてお生まれになった。

思うところあって二十九歳で出家。王子の位を捨て、年老いた国王夫妻と妻子と別れて国を出た。

故郷や家族ですら煩悩のもとになるといふことであろうか。ともかく南に隣接する大国へと赴き修行すること六年。三十五歳でお覺りを開き仏と

教えの出発点は諸行無常に

あつた。無常であるから愛する者との別れがある。別れは苦しい。愛情が執着となつて私たちが苦しめる。突き詰めると、苦しむくらいなら人を愛するなという理屈になる。

しかし、それが教えの到達点ではない。お釈迦さまは「仏心とは大慈悲のことである。有縁の者も無縁の者も分け隔てのない慈しみで救い取る」(『観無量寿経』趣意)と仰っている。

自分だけ、我が子だけ、家

族だけ、故郷だけ、〇〇だけに向ける愛情は執着である。しかし、分け隔てのない愛情であれば、それは大慈悲であり、仏心に他ならない。

しかも「母親がいのちに換えても我が子を護るように、生きとし生けるものに量り知れない慈しみの心を発すがよい。『スッタニパータ』一四九偈」とも仰せになった。

仏心大慈悲も、じつは我が子への母親の愛情、家族の絆を手本としているのである。

お釈迦さまは八十歳とられた時、自らの寿命を覚悟された。残された時間を静かに過ごす手もあつたであろうが、出家して来た道を引き返すかのように北へと旅立っていった。そのまま行けば生まれ故郷に辿り着く。

恋しくなつたわけではない。確かに故郷を捨て、家を出た。しかしお釈迦さまは家族への愛情、望郷の念まで否定するつもりはなかつたはずだ。愛情から執着を取り除けと説いただけである。

北へ向かつた最後の旅は仏心大慈悲の手本が家族への愛情、故郷への感謝にあると行動で示されたのではないだろうか。

北枕に寝かせてほしい。残された時間、お釈迦さまらしい過ごし方だつたと思う。(浄土宗総合研究所研究員)

仏教講座 只今開講中!

仏教研究所では毎年各方面より講師を招き、仏教講座を開催しております。

講座Aは新井俊定先生による「法然上人の御法語」についての解説です。宗祖法然上人の遺した書籍や手紙から法然上人の思想を読み解く講座です。浄土教の根本となる考え方が学べます。

講座Bは勝崎裕彦先生による「仏教歳時記―四季の仏教文化―」毎回、身近な季節の仏教行事を取上げて分かりやすく解説しております。

次回、三月十日午後六時から講座B第四回では「彼岸の歳時習俗」と題して、お彼岸の仏心から、季語を用いて彼岸会俳談など幅広く解説を致します。ぜひご参加下さい。

仏研だより

皆さん熱心に傾聴されています。毎回約2時間の講義です。



仏教講座A
新井俊定先生。



仏教講座B
勝崎裕彦先生。



春彼岸法要

三月二十一日(日)

春のお彼岸

午後一時〜彼岸寄席
 一階 観音堂にて

午後二時〜彼岸会大法要
 二階 本堂にて

家族そろって
 ご先祖さまを
 お参りしましょう。

春彼岸によせて

春のお彼岸は、春分の日を中心とした一週間をいい、日本独特の行事です。一般にお彼岸は、お寺・お墓にお参りし、ご先祖様の供養をすると同時に、自分自身を省みて、迷いの多いこの世界（此岸）からさとりの世界（彼岸）へ至るための仏道修行に励む期間とされています。

また、お彼岸の中日である春分の日には、太陽が真東から昇って真西に沈みます。このことから、この日は、「西へ沈む夕日を見つめることによって、西の方角にある阿弥陀様の極楽浄土へ精神を集中する」という行、すなわち、『観無量寿経』というお経に説かれる「日想観」の実践に最も適しているとされます。お彼岸はこの日想観を行って極楽浄土への思いを深めるための仏教行事ともいわれます。

さて、梅窓院ではお彼岸・お施餓鬼などの行事の期間中、本堂に大きな曼陀羅（浄土变相図）を掛けますが、この曼陀羅こそ「日想観」が説かれる『観無量寿経』の世界を描いたものです。お参りの際には曼陀羅もご覧いただき、彼岸、極楽浄土への思いを深めていただければと思います。

彼岸塔婆お申し込み方法
 同封葉書にて三月十日(木)までにお申し込み下さい。
 お電話、FAXでも受け付けております。
 塔婆回向料 一本七千円
 お支払方法
 振込用紙で郵便局にてお支払い頂くか、当山受付まで直接お持ち下さい。

◆お檀家様へのおお願い◆
 三月十七日から二十三日までの彼岸期間中、当院はお参りの方で大変混み合います。
 ご来寺の際は電車等の公共交通機関をご利用下さい。

入船亭扇好師匠
 S38年生まれ。H10年真打昇進。
 古典落語を中心に活動中。
 永六輔氏主催の「永住亭」レギュラーメンバーも務めている。



入船亭遊一さん
 S46年生まれ。H11年11月に二ツ目昇進。趣味は読書と格闘技観戦。



春彼岸寄席

落語 入船亭 扇好師匠

入船亭 遊一さん

毎回ご好評を頂いております、彼岸寄席。今春も恒例となります入船亭扇好師匠の二席でお楽しみ下さい。全席自由となっております。どうぞお早めにお越し下さい。

花まつり

Happyバースデー！お誕生日おめでとう！

いくつになっても、お祝いされるのはとても嬉しいものです。

さて、四月八日は仏教を開いたお釈迦様の誕生日、そして前日の四月七日は浄土宗を開いた法然上人の誕生日です。私たち浄土宗の信者にとつては忘れてはならない日なのですが、知らない人も多いに違いありません。

花まつりも一般に知られるようになるといいですね。

花まつりって何だろう？

仏教を開いたお釈迦さまの誕生日である四月八日を祝う行事が花まつりで、灌仏会や仏生会、降誕会といわれます。

日本では推古十四年(六〇六)に飛鳥の元興寺で初めて行われたと伝えられています。

現在では花まつりという表現で親しまれていますが、明治時代の浄土宗の僧侶が命名したといわれています。

どうやってお祝いするの？

仏教の花まつりでは、ルンビニーの花園を表した「花御堂」を美しい花で飾り、誕生仏を安置して、甘茶をそそぎ、誕生をお祝いします。

お釈迦様はどのように生まれたの？

お釈迦様は、今から二千五百年程前(西紀前五六五年)、現在のネパール国にあたるヒマラヤに釈迦族の都カピラがあり、国王シュッドドーダナと王妃マヤー夫人の間に生まれました。王子の名前はシツダルタ。

言い伝えによると、天から祝福の甘露の雨が降りそそぎ、お釈迦さまの体を浄めました。すると赤ちゃんは立ち上がって七歩あるき、右手で天を、左手で地を指さして、「天上天下唯我独尊」と叫んだといわれています。これが、のちに仏教をお開きになられたお釈迦様のお誕生です。

謎めいた誕生には、どんな意味があるのでしょうか？

生まれてすぐにお釈迦様は東西南北に七歩あるかれたと伝えられています。これは人間がこの世で迷い落ち込むであろう六道、つまり、地獄、餓鬼、畜生、修羅、人間、天上の六つの迷いの世界を乗り越えて、悟りを示す七歩目に到達したこと、つまり、仏さまになられたことを言いあら

わしています。また、「天上天下唯我独尊(てんじょうてんげゆいがどくそん)」とは、人間や動物、鳥や虫、草花にいたるまで、この世界に生きているものは、それぞれみんな存在価値があつて尊いということを意味しており、かけがえのない命を大切にしましょうと説いています。

現在、花まつりの行事は、仏教系の幼稚園などで行われていますが、昔ほど盛んではありません。それは仏教が、生まれた日よりもこの世を去る日を重く考えていて、花まつりより彼岸や施餓鬼の方が一般的に知られていることに関係しているのではないのでしょうか。

花まつりをきっかけに、自分も他人も大切に、生命の尊さを考えてみましょう。

梅窓院でも花御堂を設置して、甘茶を出して、お祝いしています。ぜひ参拝をお待ちしています。

●江戸時代までは陰暦を用いており、陰暦四月八日は現在ですと五月の終わり頃にあたります。現在は陽暦ですが、日にちは陰暦のまま変わらず、陽暦四月八日に花まつりが行われています。

●甘茶は江戸時代に一般的に用いられるようになりました。室町時代までは湯や香湯が使われていました。

さん

青山典範合資会社

青山典範五代目社長、

「さんから名刺をいただきたい目にとまったのが社名に続く合資会社の文字。初めて聞く言葉に、思わず尋ねてみた。」「合資会社は、出資額に応じて最後まで出資者が責任を持つという会社で、合名会社と並んで、人的会社という括りに入ります。」

戦前の財閥は合名会社や合資会社ばかりで、戦後の財閥解体から株式会社や有限会社に変わったのです。」

つまり会社がうまくいかななくなったら個人財産も含め、最後まで全部責任を取るのが合名・合資会社ということだ。

青山の老舗
葬儀屋さん。
梅窓院の
葬儀をまかせる
青山典範は
大正三年に設立。
典範で、当時は帝国典範合資
五代続くモットーは

「仏さまは
商品ではありません」



「とってました。」

紀州の殿様と一緒に上京してきた初代は、さんの曾祖父の父、つまり、さんのひいひい祖父さんにあたるのだが、その初代がまだ野原だった青山で御茶屋を始めたのが現在の仕事へのきっかけだ。うだ。

そして明治になって政府が神道の墓を作るための墓所として開発したのが、この青山墓地や雑司が谷、染井といった現在の都の公共霊園だ。

そしてこの青山霊園で、隣の花屋さんと石屋さんの協力を得て合資会社として青山典範は発足した。

「現在は掃除をしたり、穴を掘ったりするのも仕事だった。」「現在のうちの会社の仕事と違いますと、年間およそ百件の葬儀と、青山霊園内の三千余の墓地の掃除ですね。」

坪六千円の掃除料で年十回掃除させていただいていますが、料金が安いかわりに意見が分かれるかもしれません。これからは仏さまになられる方のお世話をさせていただくのですから、とても儲けられません。でも、損もできません。けど(笑)。

今の葬儀は葬儀屋さん主導型が多い。喪家(遺族)やお寺の都合より火葬場や会場を仕切る葬儀屋さんの都合が優先されている。その上、費用も

わかりにくい。

つまりこうした背景には、仏さまになる人を商品化する意識が働いているのではないかと、というのが竹中さんの危惧である。

だから、青山典範は施主や僧侶が中心になって進めてもらい、自分たちは一歩引いて裏方に徹する葬儀を心がけているという。

「いま、散骨や音楽葬など色々な葬儀の形態があります。喪家が本当にそうした葬儀を望んでいるのか、単に宣伝や広告に踊らされているのではないか。」

仏さまになる身内をどう見送りたいのか。ゆつくり考え家族で相談する時間的余裕がなくなってきたように思えますね。」

日本の宗教である仏教や神道は遺体やお骨を残していく、いわば家系の宗教。核家族化が進む中、かつての家がなくなり、この家系の宗教が個人の宗教にと移りつつあるということなのだろう。

さて、青山典範は二四六号線から墓地正面に入っていく参道の右手奥にある。社屋前の都営住宅地に明治三十九年から昭和二十年まで青山斎場があったそうだ。

「梅窓院、外苑、青山墓地、この三つが遊び場のベストスリーでしたね。」

社長は昭和二十五年生

まれ。四代続く葬儀屋に生まれ、中学生の頃から仕事の手伝いをしていたというが、都心生まれの都心育ちでも遊び場所には困らなかったようだ。梅窓院とは縁の深い社長だが、この紙面から読者に伝えたいことはと聞くと、こう答えられた。

「梅窓院ということだけでは無いのですが、檀家さんが菩提寺を自分の家だと思つて遠慮せずに寺と接すると良いと思います。いつかはお世話になるのですから。」



正面奥には青山墓地、右手に青山典範のビルが並ぶ。

【新井薬師】

新井山 梅照院 薬王寺
西武新宿線 新井薬師前駅

関東で有名なお寺は現世利益を祈願するお寺が多い。成田山新勝寺、川崎大師、佐野厄除大師が代表格。

この新井薬師は真言宗のお参り寺。地元密着型で、新井薬師前駅と中野駅から続く商店街のへそになっている。

二十四世となる根本智英住職も山門脇のお堂で気軽に相談相手になってくれ、護摩も焚いてくれるとあって、足を運ぶ方も途切れない。

本堂裏には先代の時に寄付した公園がひろがり、境内は出入り自由。広すぎない境内は落ち着ける空間、お檀家編集員も住職の接待に満足。



微笑たたえ住職語る切炬燵
冬日和身にうけて立つ地藏尊

記念に御朱印をお願いしました。書道の腕前は書展に出品されるほど。感激です。



ご住職と団欒のひととき。人と人の交流をととても大切にされている。



「ぶらり門前膝栗毛」編集員募集中！
私たちと一緒にお寺を訪ねて見ませんか？
お問い合わせ 梅窓院 青山文化村 03-3404-8447



西武新宿線、
新井薬師前駅から
旅が始まります。



駅から新井薬師の門前まで昔ながらの商店街がつづきます。



新井薬師山門。縁日は参道に出店が並ぶ。



痛みを除いてくれるといわれるお地藏さまを洗います。



新井薬師では毎月8の付く日に縁日が行われ多くの参拝客が訪れる。



Cafe
growna growna
Tokyo



営業時間
(平日) 7:30~22:00
(土日祝) 8:30~22:00
年中無休
席数/屋内55席・屋外16席
住所/港区北青山2-7-15
エスコルテ青山1F
TEL・FAX/03-3746-1510
http://www.escorter.jp/growna/

食は命なり

第十八回

食養研究家
武鈴子

一夫一婦の
蛤(はまぐり)

春はなんと言っても貝類がおいしい季節。赤貝、あさり、平貝、しじみ、ミル貝、鳥貝、青柳などが出揃います。そんな中で、貝類の王様といったらやっぱり「蛤」でしょう。蛤のお吸い物はめでたい行事食には欠かせません。

蛤はその形が栗に似ているところから「浜の栗」と呼ばれ、そこから「ハマグリ」となったのが名前の由来といえます。蛤の2枚の殻はどんなに多くの殻を集めてきても、もとの一对でなければ、ぴったり合わないといえます。婚礼の献立に「蛤の吸い物」が添えられるのも、こうした蛤の特性が夫婦の絆を象徴しているのでしょう。

古書には、蛤は「肺を潤し、胃を開き、渴きを止め、酒を冷まし、婦人の血塊に用いると、能く消す」と書かれていて、薬膳では蛤の身は、目の充血、解熱、黄疸、おりものの異状などの改善に用います。近年は、カルシウム、鉄、亜鉛などのミネラル分が豊富に含まれていて、精神不安、骨粗鬆症、腰痛、肩こり、高血圧、動脈硬化、味覚障害に効果があるといわれます。

蛤といえば、「桑名の焼き蛤」が有名ですが、「鍋焼き」にしても春の味覚の逸品となりましょう。作り方は、鍋を熱して塩をパラパラと振り入れ、そこへお酒を注いで煮立たせ、蛤のむき身と焼き豆腐を入れ、三つ葉・芹・ウドなど春の山菜を加えて煮ながらいただきます。香りつけにお醤油を1~2滴落としてもよいでしょう。

ご飯には、最近では数少ない自生した旬の食材・筍で作る「筍ごはん」が一番!!

国道246号からスタジアム通りに抜けるオープンスペース。



梅窓院の真向かいにある、N T T青山ビルの一階が、昨年十一月に「エスコルテ青山」として新たにオープンしたのをご存知でしたか?
外装を隈研吾氏、内装を吉岡徳仁氏と、世界で活躍する両氏がデザインを手がけ、都会的なスペースとして生まれ変わりました。
その一角に誕生したのがカフェエグロローナグロローナトウキョウ。お店には誰もが思い思いの楽しみ方ができる仕掛け

が満載。スタイリッシュな空間で、ゆったりとソファでくつろげるのはうれしい限り。ドリンクも種類豊富で、こだわりのコーヒーや紅茶などが味わえる。
まさに「五感」がよるこぶ癒しのカフェ。ぜひとも体験してほしいお店です。
エスプレッソ 二五〇円
ロイヤルミルクティー 五五〇円
ビール 三八〇円
奥のスクリーンには水族館からの映像が生中継で映し出されている。

青山俳壇

選者・『ウエップ俳句通信』編集長 **大崎紀夫**

冬の季語

◎特選

見送りて冬二日月の矢面に

(評) 人を見送ったあと空を見ると冬の三日月が正面に。まるで矢面にあるように。

◎佳作

緋衣の僧は白寿の十夜かな

初夢の思はぬ至福頂けり

冬紅葉仰ぎては作務いそしめり

雪だるま日に照らされてまぶしげに

お雑煮の味つけしかとたしかめり

お年玉孫は笑顔をお返しに

人多き方に傾くどんどの火

◎選者詠

のそと行きあとは動かぬ冬の犀

大崎紀夫

△ワンポイントアドバイス

「季語の本意」という言葉は、その季語が本来持つ意味、イメージの事で、「雪」を使う時、「白雪」の「白」は不要。それには既に「白」は含まれているからです。

投句募集

次回は「春の季語」でご自由にお詠み下さい。3月20日を締切、6月発送の『施餓鬼号』にて発表致します。住所、氏名をお書き添えの上、ご応募下さい。皆さまの投句をお待ちしております。

〒107-0062 港区南青山2-26-38
梅窓院
「青山俳壇」投句募集係

「やぶれ傘」会員募集
青山俳壇の選者、大崎紀夫先生による俳句の会です。ご興味のある方は、左記の番号までご連絡下さい。
※ウエップ編集室
電話〇三(五三六八)一八七〇

・ 行 ・ 事 ・ 予 ・ 定 ・



春彼岸会法要・寄席

三月二十日(日)

午後一時〜 彼岸寄席

午後二時〜 春彼岸会法要

寺院棟二階 本堂

※詳細は三面をご覧ください。

増上寺 御忌大会

四月二日(土)〜七日(木)

・三日 詠唱大会

・六日 御忌日中法要

唱導師 専念寺住職

布村哲哉上人

増上寺で御忌法要が行われるこの期間は、境内の桜も満開となり、出店も並んで、大勢の人で賑わいます。春の日の散策に、ぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか。

はなまつり

四月三日(日)〜八日(金)

寺院棟二階 本堂

お釈迦様の誕生をお祝いする「はなまつり」。寺院棟二階の本堂エントランスに甘茶をご用意しております。皆様どうぞご参拝下さい。

郡上おどり in 青山

六月下旬予定 二日間

※郡上物産展同時開催

御忌唱讚導師 拜命記念
清浄華院 団体参拝旅行
「京都・琵琶湖の旅」
四月二十三日(土)
〜二十四日(日)

本年度当山中島真成住職は、浄土宗大本山清浄華院で行われます「御忌大会」唱讚導師の大役を拜命致しました。

御忌とは宗祖法然上人の忌日法要を指し、浄土宗の各寺院でも行われています。

梅窓院では一泊二日の清浄華院団体参拝旅行を企画致しました。定員次第締め切りとなりますので、どうぞお早めにお申込みください。

※お問合わせ 梅窓院
TEL 〇三・三四〇四・八四四七



昨年の増上寺御忌「お練り行列」梅窓院詠唱教室の皆様も列に加わりました。



1月25日、清浄華院本堂にて、御忌定式奉告法要が行われました。

編集後記

お知らせ

「墓石」のご相談承ります

墓石建立や修理のご相談などございましたら、ご遠慮なく梅窓院受付までお申し付け下さい。墓石担当者がすぐに対応致します。お電話での相談も受付けております。

【お問合わせ】

梅窓院墓苑 総代理店
(株)日本エキスパートシステム
TEL 〇三・五七八六・二五五

落慶記念映像DVD完成

先日落慶式を終えた梅窓院本堂。この度、その本堂佛具製作過程を追ったDVDが完成致しました。

佛具が京都から運ばれ、組み立てられる様子や、落慶法要の様子が収められた記念すべき一本です。

こちらは落慶記念としまして、檀信徒の皆様に進呈させていただきます。

※ビデオテープをご希望の方は、お手数ですが同封のハガキにてお知らせ下さい。三月末日を締切とさせていただきます。

暖かい季節となって参りました。皆さんは春というとどんなイメージを持ちますか？

私は、別れ・出会い・花見と浮かんで来ますが、皆さんはどうでしょうか？

学生の頃は、卒業と入学での切ない別れと未知の出会いを経験したのを懐かしく思います。

現在、一番に浮かぶのは花見です。満開の桜を眺め、ほろ酔い加減で食事を楽しんで……と想像が膨らみますが、なぜか花見の時期は風邪を引いてダウン。今年こそはと意気込んでいる今日この頃です。(亜)